

羽曳野市学校図書館ニュース 第25号

令和2年 12月発行：羽曳野市学校司書会



子どもたちの知識や好奇心を広げるために、学校図書館が活用できます

「？」を知る。「！」をまとめる。

低学年：活用例 1年生 国語「うみのかくれんぼ」

実践、資料提供

目当て：1年生の児童が楽しく調べられる本の提供と調べ学習の指導。
準備：児童のサポートをスムーズに行うために担任と司書で資料の下読みを行う。
資料の重要ページへ付箋を貼る。ワークシートの作成。

☆学習の流れ

- ① 班に2冊の資料で調べていく。
 - ② 調べた本の『タイトル』をきちんと書くこと、調べるための本には「もくじ」や「さくいん」がついていることを説明する。
- 資料：いきものが自然の中で「かくれている様子」を写真や文で理解できる本を班に2冊ずつ用意した。



実践して

1年生の初めての調べ学習だった。これからの調べ学習につながるように意識した。

中学年：活用例 4年生 国語「わたしの研究レポート」本で調べて報告しよう

実践、資料提供

目当て：テーマを決め、レポート用紙にまとめる。
準備：テーマの事前アンケートを取り、資料の準備を行った。記入用情報カード。

☆学習の流れ

- ① 百科事典の利用のしかたを学習する。(司書)
- ② 百科事典から、テーマの定義・要約を情報カードに記録する。
- ③ テーマを詳しく調べ情報カードにまとめる。

資料・情報を探す児童のサポート(担任・司書)

*奥付の見方、出典の書き方、複数冊の本を使って調べることもあわせて指導。(担任・司書)

資料：『超知りたい小学生ぎもんランキング』『なぜ?』に答える科学のお話100』など

実践して

楽しんで百科事典を使い、自分のテーマに意欲的に取り組んだ。さらに資料・情報を探しにくる子もいた。百科事典を引く習慣がついたこと、本で調べることを楽しんでいただけたことがよかった。



高学年：活用例 6年 国語「ようこそ、私たちの町へ」パンフレットの作成

実践、資料提供

目当て：目的の情報を集める。パンフレットを作成する。
準備：記入用情報カード

☆学習の流れ

- ① 選んだ都道府県のイメージをマッピングする。
- ② 題材(名所・ご当地料理・名産・文化など)を絞り、資料で調べ、情報カードに、書誌情報や抜き出した情報をメモする。
- ③ 情報カードをまとめ、ひとつのパンフレットに仕上げる。

資料：各都道府県のパンフレット(県事務所等で資料収集したもの)

実践して

実物のパンフレットから、情報だけでなく、割り付けなどの構成を自分がつくるときの参考にしていた。

4年生国語「パンフレットをよもう」などで各校所蔵の都道府県パンフレット資料をご利用ください。



中学校：活用例 2年生 国語「職業ガイドを作る」多様な方法で情報を集めよう

実践、資料提供

目当て：資料とWEBから職業の情報を集める。(学校図書館とPC室)
準備：パスファインダー(調べのガイドプリント)、参考文献シート

☆学習の流れ

- ① 担当教師から、授業の流れと注意事項の説明。
- ② パスファインダーにそって、資料・WEBを使っての情報の集め方、参考文献の書き方、資料と目次・索引の利用の紹介。
- ③ 生徒はノートに収集した情報を記録していく。教師と司書で資料の案内と助言。

資料：一人一冊『13歳のハローワーク』(村上龍、幻冬舎)他、キャリア関連資料約100冊

実践して

WEBとたくさんの資料で多種の職業と情報を調べることができた。教師・司書の3名で、生徒への案内と助言を手厚くすることができた。



活用のヒント① 調べ学習 (調べ方を身につけていく)
…指導計画に合わせて、授業を支援します。



活用のヒント② 図書館情報教育 (資料・情報の取り扱い方を学ぶ)
…百科事典や図鑑の使い方、著作権、資料・情報の探し方などに取り組みます。



活用のヒント③ 単元の関連資料の紹介 (知識を深める・広める)
…どの教科のどの単元の資料でも、収集・提供します。

ほんよむのにながてやねん

～それぞれの「にながて」の理由をたずねてみると～

「読書が苦手」といっても、その理由は子どもそれぞれ……。今回は、司書が日々子どもと関わる中で聞こえてきた「苦手」な理由と、その時のアプローチの事例をご紹介します。

司書が本を紹介する時に大切にしていることは、「その子を知る」ことです。今、その子がどういうものを求めているのか？ 好みは？今の気持ちは？その子に合った本を手渡すことで、心の成長につながるような読書体験をしてもらえようと願っています。

何を読んだらいいかわからへ～ん

(低・中) 自分で本を選べず、図書時間のたびに「おすすめの本をおしえてほしい」と声をかけてくる。

☆先生や友だちの声かけが力に 好きな話の傾向を聞いたうえで、あらすじや導入を紹介し、「好きな本だと思う」と毎回手渡した。1週間で読み切らなくていいこと、少しずついいから読んでほしいことを伝える。担任の先生や、友だちも声かけをしてくれて、だんだんと自分から選べるようになった。

…読みたくないねん

(中) イライラして本を読む気持ちになれない。

☆冒頭を一緒に読んでみる 学年が上がり、絵本から物語に移行するときにつまずきを感じている様子があった。

楽しい幼年童話を紹介して 冒頭を一緒に読んでみたところ、「続きも読んでみようかな」と前向きになった。

※紹介した本：『ぼくはめいたんてい①消えた犬の絵』

※リーディングトラッカーなどの補助道具を使うと読みやすい場合も！

字を読むのが苦手やねん!

(中・高) 細かい文字は読めるが、長文を読むのが苦手。本を読むことにモチベーションがもてない。

☆短編集を紹介 長文を読むのは苦手だが、絵本や低学年向きの物語は求めている様子。学年・年齢の自尊心を大切に、短編集を主に紹介する。 ※紹介した本：『54字の物語』

(低) 1人で読むとパラパラめくって終わってしまう。字を読むのが苦手。

☆一緒に読もう! となりに座り、読んであげたり、1ページずつ交代で読むことを継続して行く。指さし読みで、読んでいる箇所を目で追える工夫をした。同じシリーズの本を制覇しようと、意欲的に本を手にとるようになった。 ※紹介したシリーズ絵本：『いいからいいから』『ゆうたくんちのいばりいぬ』『ねむいねむいねずみ』

(低・中) 自分で本を決めたい(こだわりがある)けど、なかなか選べない。

☆AかBかどっちの気分? 「どんな本を読みたい？」ではなく、「今日はちょっと長めのお話の気分?絵本の気分?」と選択肢を提示することで、きっかけをつかみやすい。

(高) 高学年向けの本を借りるが、なかなか読めない。図書時間の、15分間の黙読に集中できず、本を読まなくなった。

☆「読めた」という自信をつけて… 静かに近づいて、「残り時間で読める短いけど高学年に人気の本やねん。気になる方を読んでみて。」と2冊の本を渡した。両方読み、1分間の「今日読んだ本の紹介タイム」で、きちんと紹介できていた。 ※紹介した本：『なんでもふたつさん』

市小研図書館部会で紹介された本です

市小研図書館部会では、先生と司書が1人1冊本を持ち寄って紹介しあう時間が設けられています。

教室で読んでよかった本、子どもとの関わりの中で読んで心に残っている本、先生自身が大好きな本など、本への思いを語り交流しています。

※気になる本があれば、司書にお声掛けください。～昨年度の部会で、先生方から紹介された本です～

『似ていることば』 おかべ たかし著 東京書籍

『ちゅーちゅー』 宮西達也作 鈴木出版

『にゅうどうぐも』 野坂勇作 根本順吉監修 福音館書店

『さくらもちのさくらこさん』 岡田よしとか作 フォックス 新社

『マイク・マリガンとスチーム・シヨベル』 パーシニア・リー・パートン作 石井桃子訳 童話館出版

『わたしはあかねこ』 サトシン作 西村敏雄絵 文溪堂

『いただきまーす!』 二宮由紀子文 荒井良二絵 解放出版社

『この計画はひみつです』 ジョナ・ウィンター作 ジャネット・ウィンター絵 さくまゆみこ訳 鈴木出版

『くまとやまねこ』 湯本香樹実文 酒井駒子絵 河出書房新社

『子どものための精神医学』 滝川一廣著 医学書院

『子どものトラウマ』 西澤哲著 講談社

『子ども虐待』 西澤哲著 講談社

『シンデレラが語るシンデレラ』 クゲユウジ作 柴田ケイコ絵 高陵社書店

『アフガニスタンの診療所から』 中村哲著 筑摩書房

『とうさんはタツノオトシゴ』 エリック・カール作 さのようこ訳 偕成社

『くまのパディントン』 マイケル・ボンド作 ベギー・フォートナム絵 松岡享子訳 福音館書店

『わくせいキャベジ動物図鑑』 tupera tupera 作 アリス館

『くつしたあみのおばあさん』 おそのけいこ作 PHP 研究所

『だいじょうぶだいじょうぶ』 いたうひろし作 講談社